

授 業 科 目 名	学級経営論	教 員 名	杉田 康之 (実務経験のある教員)	免許・資格 との 関 係	小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	
					保育士	
授 業 形 態	講義	担当形態	単独		こども音楽療育士	
科 目 番 号	SID318	配当年次	3 年前期	卒 業 要 件	小幼コース	
単 位 数	2 単位				幼保コース	
科 目	大学が独自に設定する科目					
各科目に含める 必 要 事 項						
一 般 目 標	学級経営の意義や望ましい学級集団のあり方、生き生きと学ぶ授業づくりなどの理論と実践の学習や、学級経営の分析・検討などを通して、学級経営に必要な教師としての資質や実践意欲を育てることができる。					
到 達 目 標	(1) 学級経営の意義と学級の組織と編成 1) 学級経営の概念と本質について理解することができる。 2) 学級編成の原理や編成の方法を理解することができる。 (2) 学級教育目標の設定 1) 理念目標と実践目標、下降的な設定と上昇的な設定について理解することができる。 2) 学校の教育目標を意識しながら実際に学級教育目標を設定することができる。 (3) 学級経営の実践 1) 学習指導と評価について学力の要素、学習評価から理解することができる。 2) 生徒指導の意義を理解し、いじめや不登校に活かす実践について理解することができる。 (4) 学校・保護者・行政との連携 1) 保護者・行政と連携した学級づくりについて理解することができる。 (5) 発達障害の子どものいる学級経営 1) 発達障害の子どものいる学級経営の在り方について理解することができる。 (6) 荒れた学級やまともにならなかった学級の対応 1) 荒れた学級やまともにならなかった学級を立て直す取組について理解することができる。 2) 学級崩壊を起こさない学級づくりについて理解することができる。 (7) 学級特性を生かした学級づくり 1) 確かな児童理解に基づく学級経営について理解することができる。					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる 2 教育者としての情熱を持ち、正しい倫理観と責任感を身につけている。 3 教育者として、持つべき十分な記述力・プレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を身につけている。 4 教育に関連する事柄について、継続的・主体的に学ぶ学習能力を身につけている。 5 教育実践力を身につけている。 6 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている を育成する科目として配置している。					
授 業 の 概 要	学級担任と児童、児童同士の相互作用による健全な学校生活の中で、児童の人格の完成を目指しながら成長できるように目標と計画を立てて実践していくのが学級経営である。本講義では、まず、学級経営の概念や本質、学級の組織と編成などの理解を深めた後、学級経営の主要要素である学習指導や生徒指導、特別支援教育等の指導の実践について法的根拠をもとに展開する。また、学級教育目標の設定や学級経営計画の検討、評価と改善などの学級経営マネジメントについて講義する。さらに、特別な配慮を必要とする児童のいる学級の経営や荒れてまともにならなかった学級の対応など、様々な実践事例の分析・検討を通して学級経営の実践力を育成する。 授業形態は講義とするが、アクティブラーニングとして、課題解決型学習の中で「グループワーク、ケーススタディ、ロールプレイング、プレゼンテーション」などを取り入れる。					

授 業 計 画	第1回：学級経営の意義 「学級経営のとらえ方」	
	(1) 学級経営の概念… 学級経営に関する領域論と機能論	(1) -1)
	(2) 学級経営の本質… 学級経営の本質についての歴史的な経緯	(1) -2)
	第2回：学級の組織と編成① 「学級概念と学級編成」	
	(1) 学級編成の系譜	(2) -1)
	(2) 学級編成と学級編制の違い	(2) -1)
	第3回：学級の組織と編成② 「学級編成の方法」	
	(1) 学級編成の原理	(2) -2)
	(2) 多様な学級編成の基準	(2) -2)
	第4回：学級教育目標の設定①	
	(1) 理念目標と実践目標、下降的な設定と上昇的な設定	(3) -1)
	(2) 学校の教育目標と学級教育目標の関係	(3) -1)
	第5回：学級教育目標の設定②	
	(1) 学級教育目標設定の手順	(3) -1)
	(2) 学級教育目標設定の実際	(3) -2)
	第6回：学級経営の実際Ⅰ（学習指導と評価①）	
	(1) 学力の要素	(3) -3)
	(2) 学習と学習指導	(3) -3)
	第7回：学級経営の実際Ⅰ（学習指導と評価②）	
	(1) 学習指導の構成要素とPDCAサイクル	(3) -3)
	(2) 学習指導の充実と学習評価	(3) -3)
	第8回：学級経営の実際Ⅱ（生徒指導①）	
	(1) 生徒指導の意義	(3) -3)
	(2) 生徒指導の構造	(3) -3)
	第9回：学級経営の実際Ⅱ（生徒指導②）	
	(1) チーム学校における学校組織	(3) -4)
	(2) 生徒指導体制と場面指導	(3) -4)
	第10回：学級経営の実際Ⅱ（生徒指導③）	
	(1) いじめ防止の法的根拠とその実際	(3) -3)
	(2) いじめに関する重層的支援構造	(4) -1)
	第11回：学級経営の実際Ⅲ（不登校）	
	(1) 不登校に関する関連法規と基本方針	(4) -2)
	(2) 不登校に関する生徒指導の重層的支援構造	(3) -3)
	第12回：学校・保護者・行政と連携した学級づくり	
	(1) 学校が行う支援	(5) -1)
	(2) 行政が行う支援	(5) -1)
	第13回：発達障がいの子どものいる学級経営	
	(1) 発達障がいの現状と理解	(3) -3)
	(2) 発達障がい児に対する組織的な対応	(3) -3)
	第14回：円滑な学級経営のための取り組み	
	(1) 演題「笑顔いっぱいの学級づくりを目指して」〈外部講師招聘〉	(7) -1)、2)
	第15回：学級の特性を生かした学級づくり	
	(1) 確かな児童理解に基づく学級経営の実際と学級通信	(8) -1)
	◇定期試験：試験期間中に実施する。	
学 生 に 対 す る 評 価	試験等60%、レポート20%、記録等20%とし、総合的に評価・判定する。 なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。 ・小テストや振り返り等でフィードバックする。 ・詳細については、授業の開始に口頭で行う。	

時 間 外 の 学 習 に つ い て	(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。) 事前学習：毎回講義の最後に次回の講義項目を伝えるので、必ず事前にテキストあるいはプリント等の予習をし、不明な点を調べておくこと。 事後指導：講義内容に関するレポートや小テストを課すので、解答して正解を確認した上でファイルしておくこと
教材にかかわる 情 報	・『学年・学級の経営』下村哲夫（第一法規） ・『学級経営読本』北村文夫（玉川大学出版部） ・『小学校学習指導要領（平成29年度告示）』（文部科学省） ・『小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説』（文部科学省） ・『生徒指導提要（令和4年12月）』（文部科学省） ※ 参考資料等：文部科学省通知文等
担 当 者 か ら の メ ッ セ ー ジ	学級経営の充実については、文部科学省（2017）小学校学習指導要領（平成29年告示）解説・総則編で「学習や生活の基盤として、教師と児童との信頼関係及び児童相互のより良い人間関係を育てるため、日頃から学級経営の充実を図ること」と示されている。学級経営の基本を理解するとともにアクティブラーニングに積極的に参加し、実践的な学級経営の在り方を身につけること。
オフィスアワー	メールで事前に連絡を取ること。 Email: ysugita@miu.ac.jp